

現代日本の長波

高知工科大99年度講義

支援ネットワーク

公文 俊平

[大学院起業家コース]

第一章：長波論のエッセンス

60年正弦波と90年S字波

1999/9/10

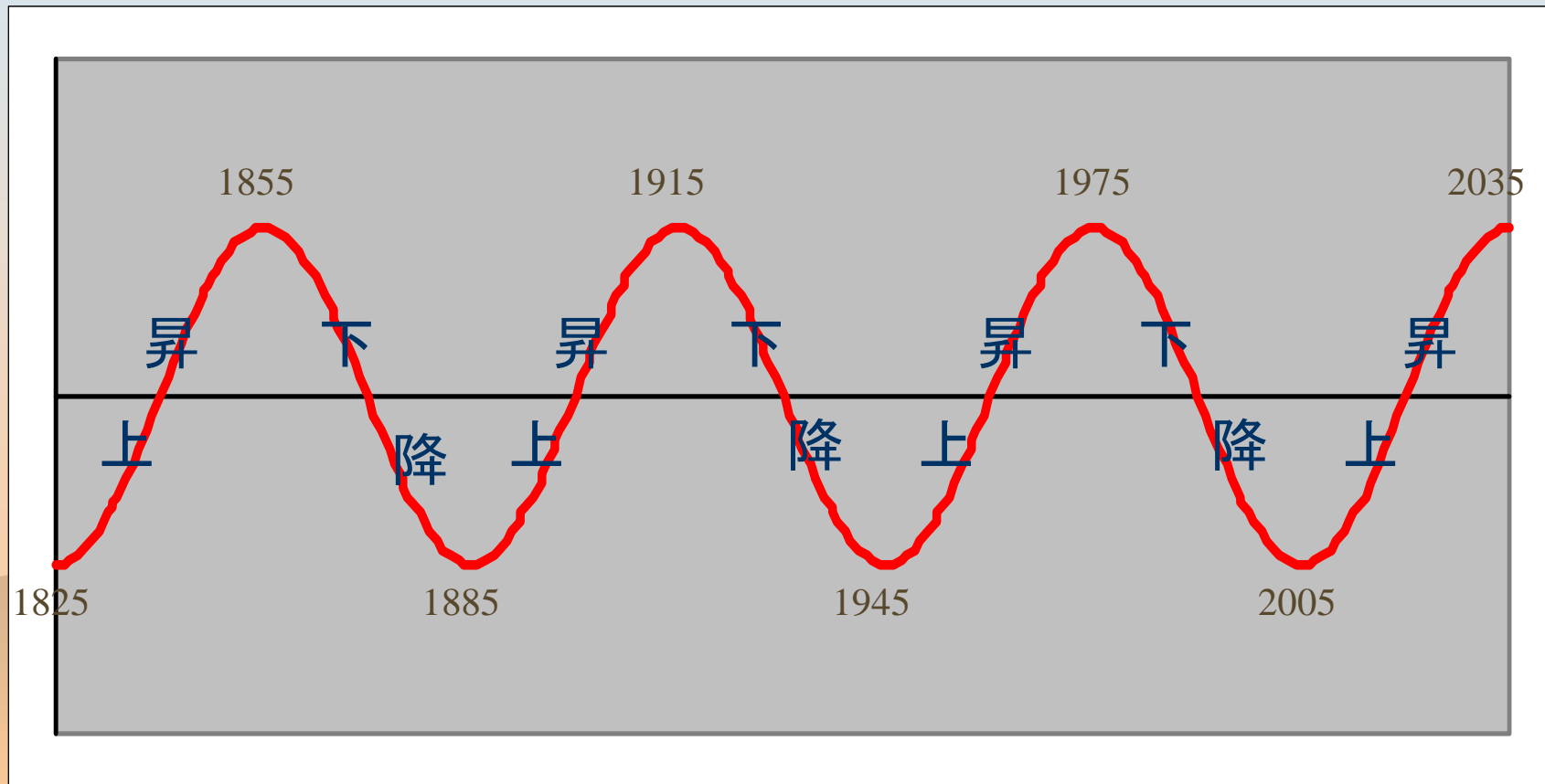
高知工科大：支援ネットワーク：公文

2



長波の基本パターン(1)

六十年周期: 下降・上昇の各三十年



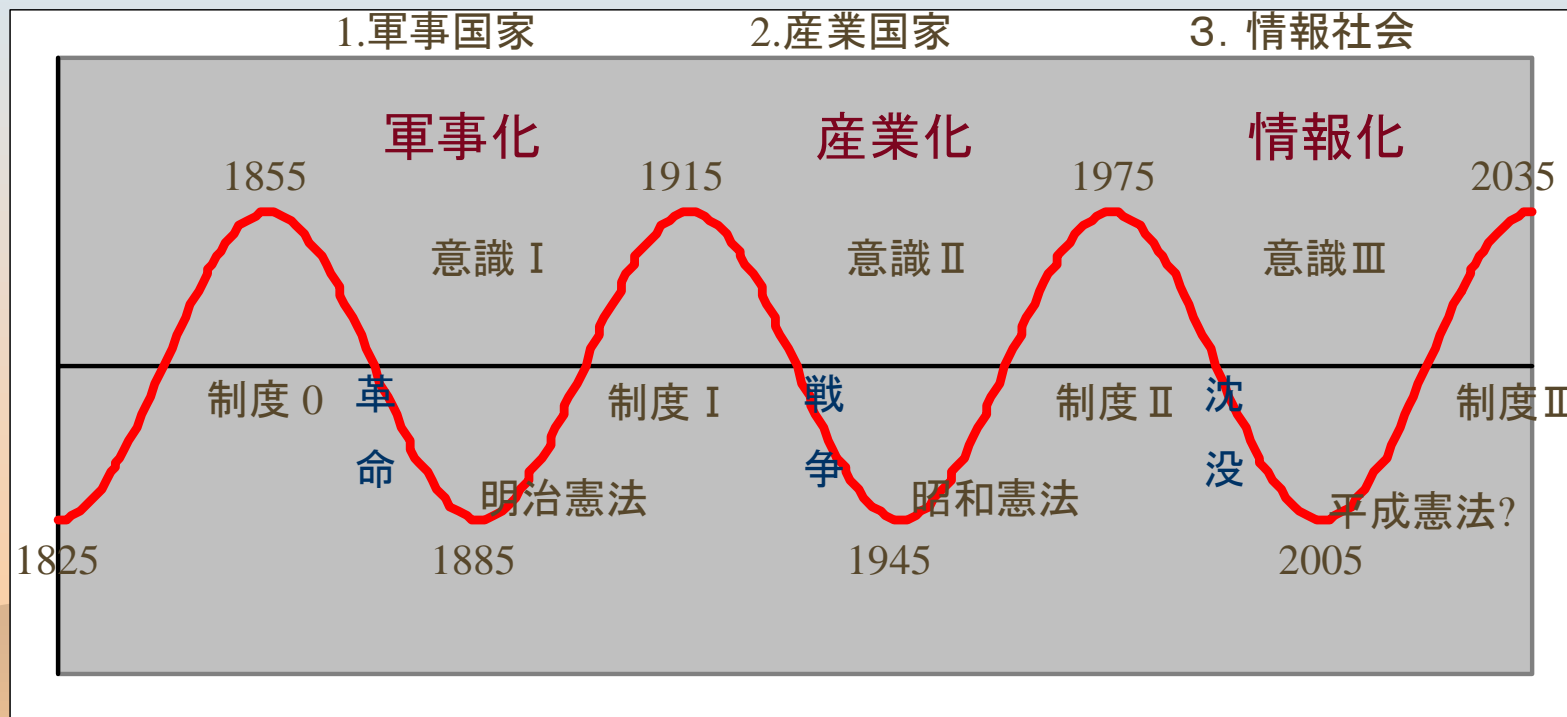
意識と制度の長波

二つの六十年周期

英国覇権

米国覇権 I

米国覇権 II

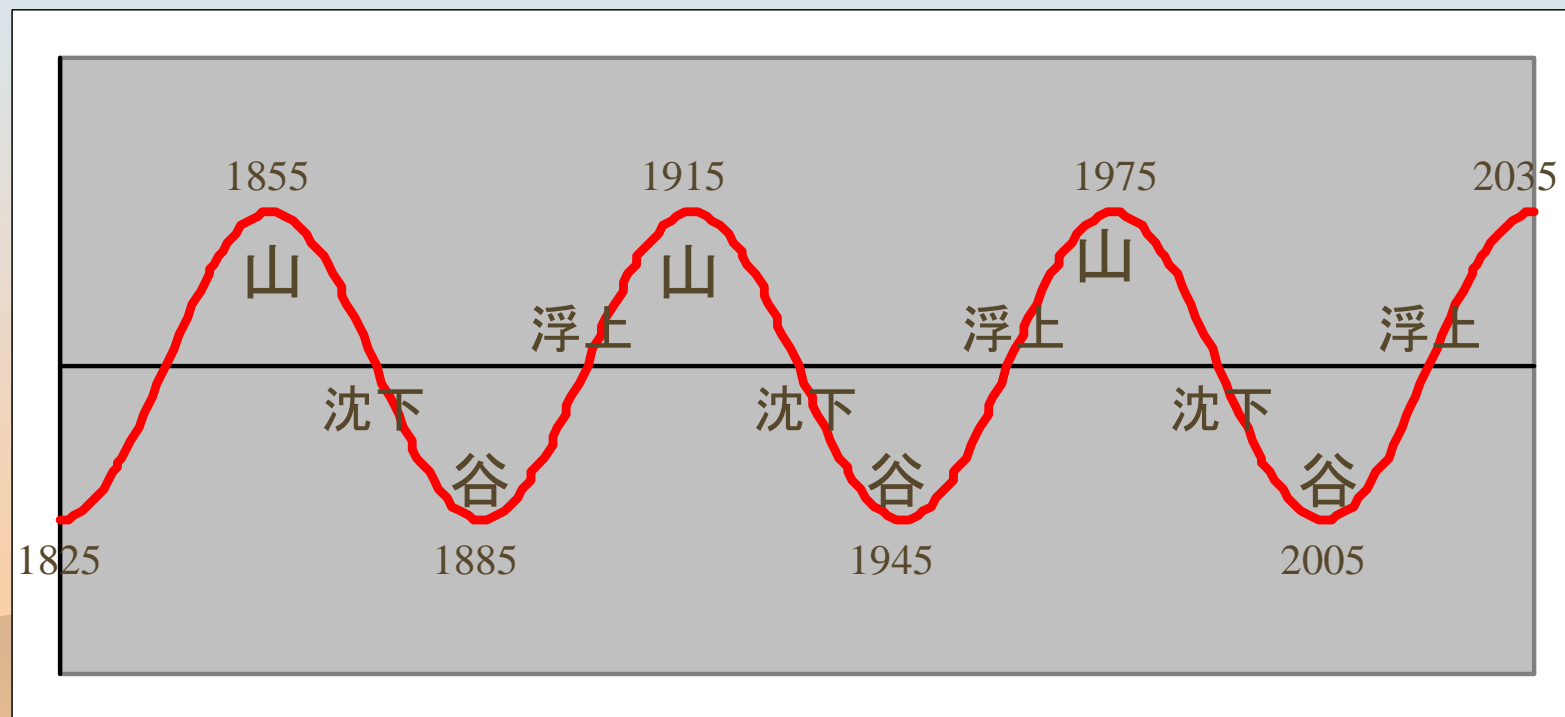


1999年の工業化体制

1. 初期資本主義体制 2. 高度産業化体制 3. 情報化体制

山(環境変化)と谷(制度改革)

沈下と浮上



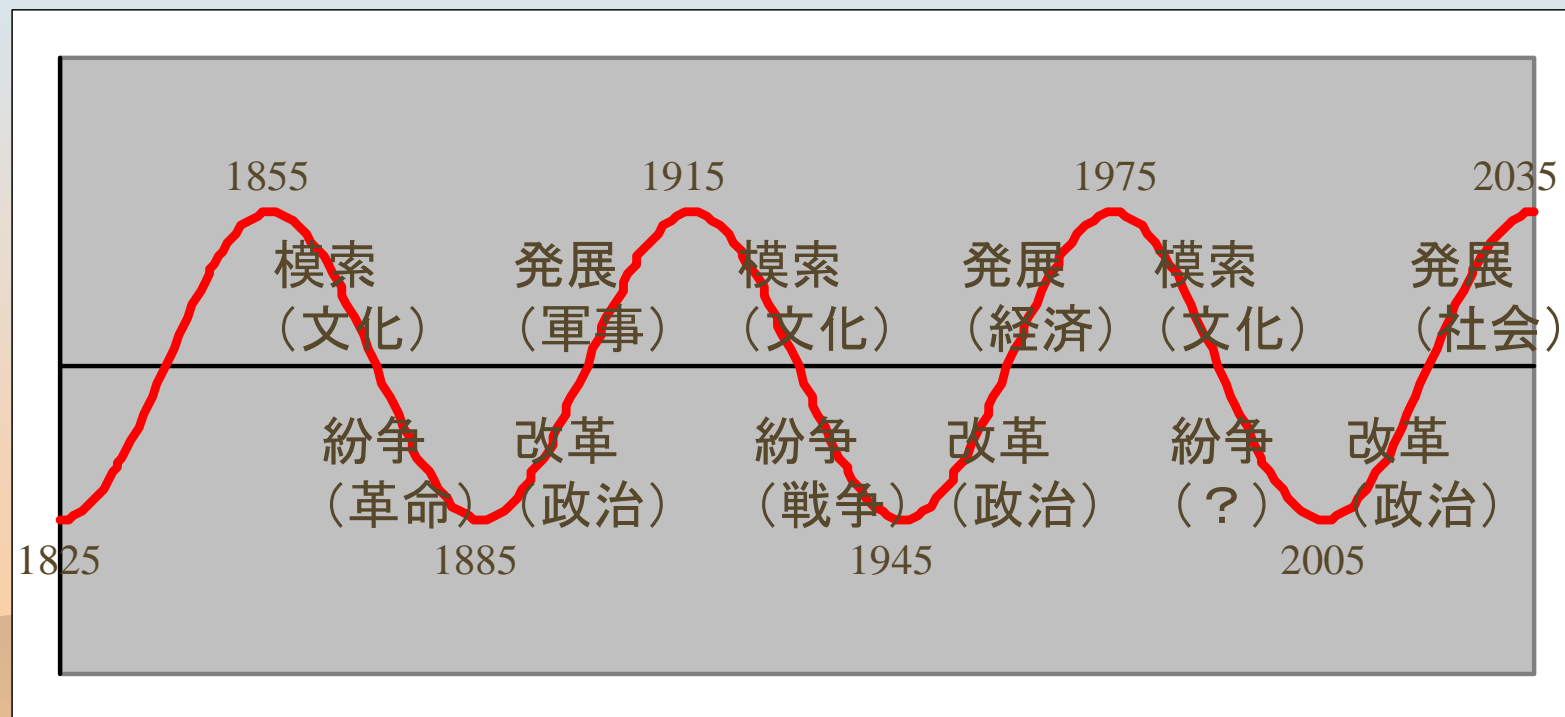
山の十年と沈下の十年

- * 第一の山: 1850年代: 開国、幕藩体制動揺
→ 沈下: 65-75: 革命から内乱へ
- * 第二の山: 1910年代: 侵略戦争否定、大衆消費
→ 沈下: 25-35: 不況から戦争へ
- * 第三の山: 1970年代: 資源環境危機、情報革命
→ 沈下: 85-95: バブルから沈没?へ

谷の十年と浮上の十年

- * 第一の谷：1880年代：近代国家体制の構築
→ 浮上：95-05：坂の上の雲：連戦連勝
- * 第二の谷：1940年代：新産業国家体制の構築
→ 浮上：55-65：戦後の高度経済成長
- * 第三の谷：2000年代：情報社会体制の構築
→ 浮上：15-25：本格的情報化

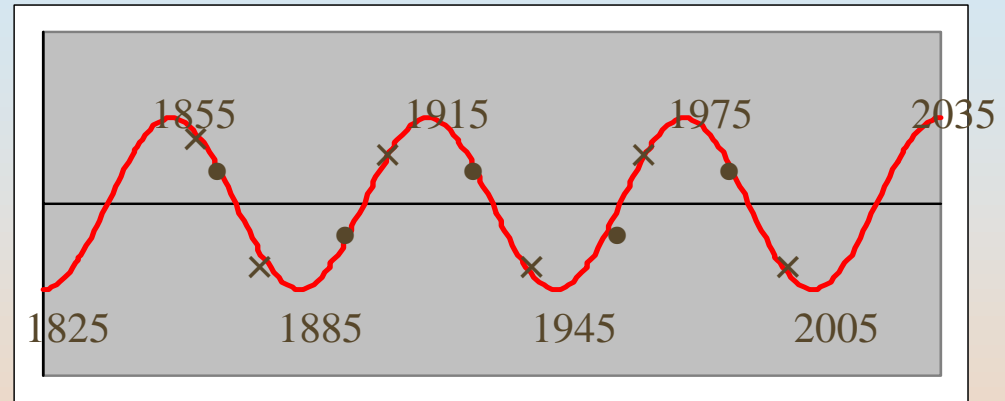
十五年周期への分割



政治の三十年周期

* 政治システムの転換

- 1866: 薩長連合
→ 藩閥政権
- 1896: 板垣入閣
→ 藩閥・民党政権
- 1925 護憲三派内閣
→ 民党政権
- 1955: 保守・両社合同
→ 55年体制
- 1983: 田川入閣
→ 脱55年体制



(1860: 尊皇攘夷運動)

1880: 自由民権運動

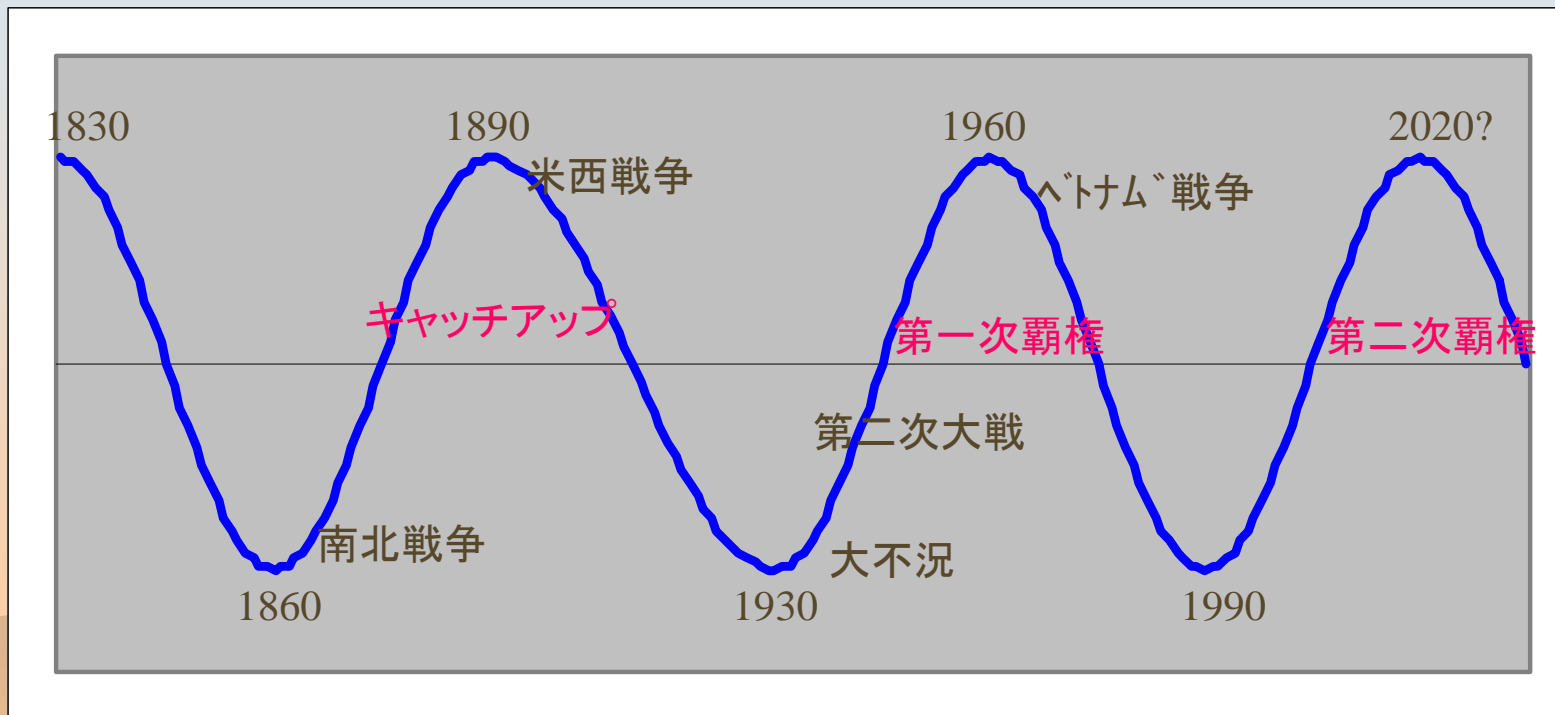
1910: 護憲・普選運動

1940: 新体制運動

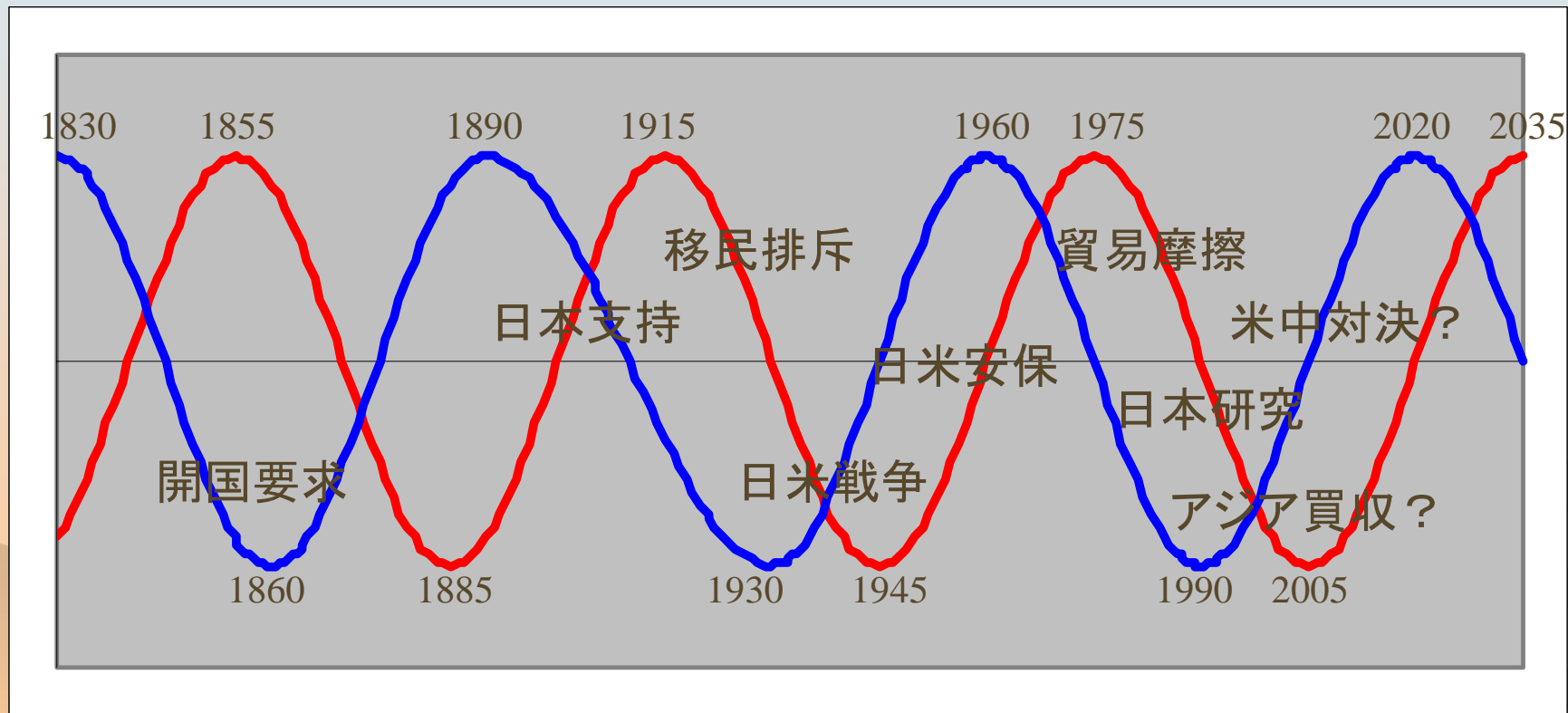
1970: 革新自治体運動

2000: ネティズン運動?

米国の長波



日米長波の交差



長波の基本パターン(2)

- ❁ 60年ごとに発生するS字波
- ❁ 全体で90年:出現～発展～衰退
- ❁ 30年の重複期:時代の性格が不透明
 - 新しい波の出現と古い波の衰退
- ❁ 30年の発展期:時代の性格が透明
 - 発展一本槍



第二基本パターンによる 日本の西欧化の再解釈

	出現局面	発展局面	衰退局面
近代第一期 (1855-1945)	集権国家建設 (1855-1885)	本格的軍事化 (1885-1915)	軍事冒険・敗戦 (1915-1945)
近代第二期 (1915-2005)	重化学工業化 (1915-1945)	本格的産業化 (1945-1975)	バブルと崩壊 (1975-2005)
近代第三期 (1975-2065)	情報産業・社会化 (1975-2005)	本格的情報化 (2005-2035)	? (2035-2065)

第二章：長波に学ぶ日本の未来

新たな上昇局面をめざして



追いつき型成長期の日本

前の上昇期は第二次産業革命の成熟期

- ✿ 重化学工業中心：重厚長大
- ✿ 大企業体制による市場と消費者の制御
- ✿ 政府の関与と経済運営、開発主義
 - やさしい母親・世話役としての行政
- ✿ 乗用車と家電の大衆消費で成熟

敗戦の教訓：モノ重視、戦争は放棄



懸念すべき日本の立ち遅れ（1）

第二次革命成熟期の成功が仇？

- * 情報化の理解不足：概念化は早かったが
- * ビジネス利用への無関心
 - 米国産の輸入と焼き直しが中心
 - 中途半端に終わったロボット化：単体型
 - 「ローテク」の制御系：制御と監視の分離



懸念すべき日本の立ち遅れ

第二次革命成熟期の成功が仇？

- * コンピューター産業
 - ゲーム、カラオケ、アニメ、パチンコに資源投入
- * 電話産業
 - ISDNとATMが足をひっぱる？
- * 放送産業
 - ハイビジョンでの失敗
 - CATVの普及も少ない
- * 後手の先手は可能か：CAN型FTTH

どう取り戻す日本の遅れ（1）

- * 当面の危機：2000年問題と国際関係
 - 米国のアジア進出野心と北朝鮮の日本侵入野心
 - 2000年問題でアラブ・中国・ロシアの混乱
 - 緒戦の成功と補給戦での失敗の可能性
- * 2005年の谷からの立ち直り期がチャンス
 - 情報社会化と情報産業化
 - それまでの日米対決に注意
 - 新米中対決への対処

どう取り戻す日本の遅れ(2)

新しい主役たちの活躍の場を作ろう

- 立ち直り戦略：内発的情報化で交流・共働を
 - 育ってきたゲーム・ケータイ世代に期待
 - 個人とイントラネットからの再出発
 - エココミュニティ（加藤）の構築
 - 4Wを生かした逆転を
 - そしてLANからCAN・WANへ
- 当面は既存資源の活用
 - 料金定額化とパイプの開放
 - CANの構築支援
 - 自治体の主導と企業 = 地域共働

1999/9/10

高知工科大:支援ネットワーク:公文

19



どう取り戻す日本の遅れ（3）

社会システムの本格的再編成

- 憲法改正：
 - 道州制、情報権、エコマース法
- 情報通信省の設置：規制枠組みの改革
 - 競争・開放のための規制
 - 情報権の乱用を抑えるための規制
- 情報智民公社：CANの運営主体？



近代日本の社会的発展目標

かつての「日本的経営」に似た 「日本的情報社会」？

	第一期 1855-1915	第二期 1915-1975	第三期 1975-2035
国内目標	文明開化	民主主義	地域化
国際目標	列強化	平和主義	地球化
発展戦略	富国強兵	経済発展	情報化

第三章：付論

日本史の超長波

1999/9/10

高知工科大：支援ネットワーク：公文

22



徳川時代の長波

近世各期の波	出現局面の課題	発展局面の解答	衰退局面の困難
1. 天下統一 (1555-1645)	天下統一 (1555-1585)	徳川幕府形成 (1585-1615)	二重権力・飢饉 (1615-1645)
2. 幕府専制化 (1615-1705)	安定的統治機構 の確立 (1615-1645)	幕閣機構の確立 勸農 (1645-1675)	元禄通貨バブル 財政赤字と腐敗 (1675-1705)
3. 重農主義 (1675-1765)	財政再建 (1675-1705)	農本的開発主義 (1705-1735)	風水害・一揆 (1735-1765)
4. 重商主義 (1735-1825)	民衆不満へ対応 (1735-1765)	商業化・開発 (1765-1795)	民衆文化の統制 統治体制の改革 (1795-1825)
5. ナショナリズム ム (1795-1885)	外国船来航への 対応 (1795-1825)	制度改革 軍備強化 (1825-1855)	雄藩の台頭 黒船の圧力 (1855-1885)

日本史の超長波仮説（1）

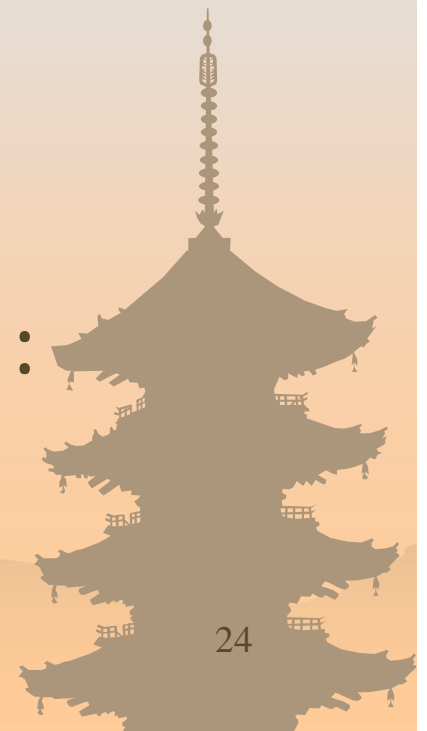
ウジ社会の超長波

原ウジ（弥生時代）の波：BC300-385。
頂点は3世紀半ばの邪馬台国の時代。

大ウジ（古墳時代）の波：235-685。
頂点は5世紀後半の倭王武の時代。

単一ウジ国家（律令化）の波：595-925。
頂点は8世紀半ばの聖武天皇の時代。

単一ウジ国家解体（荘園＝私領化）の波：
835-1525。
頂点は11世紀初頭の藤原道長の時代。



日本史の超長波仮説（2）

イエ社会の超長波

原イエ（中世）の波：ウジ第5超長波と重複。
（835-1525）頂点は14世紀後半の足利義光期

大イエ（近世）の波：（1435-1885）
15世紀半ばから19世紀終わりごろまで
頂点は18世紀半ばの徳川吉宗の時代

単一イエ国家（近代）の波：（1795-2065）。
頂点は20世紀半ばの経済大国時代
（それとも21世紀前半の情報大国時代？）

単一イエ国家の解体（地方化）の波：
おそらく20世紀後半から（1975-）

